

まちづくり



い風をしつかりと受け、未来への道を切り拓く原動力にしなければなりません。そのため、こうした活発な取り組みの基礎となる第一次産業と関連産業の振興、これらと連動する観光施策を重点的に推進します。

また、出産や子育てに関する希望を実現し、これからの厚岸町を担う子どもたちを健やかに育てていくため、安心して子育てできる環境づくりの支援を講じます。

さらに、本年は、2020年度を始期とする第6期厚岸町総合計画の策定に向けた取り組みに着手します。厚岸町をもっと元気なまちへ、そして町民の皆さん誰もが心から誇りを持ってまちへと向かう道しるべとなる計画であり、現計画の検証や社会

重点政策と予算状況

一年間のまちづくりの方針を示すのが町政執行方針です。

そして、それを実行するために必要なのが予算です。

その内容を審議する町議会第1回定例会が3月7日から15日まで開かれ、予算案などが議決されました。

今月号では、若狹靖町長が初日に行った町政執行方針、酒井裕之教育長が行った教育行政執行方針、そして平成30年度予算の概要をお知らせします。



町政執行方針

厚岸町長 若狹 靖

はじめに

平成30年厚岸町議会第1回定例会の開会に当たり、町政執行に関する私の所信を申し上げます。

昨年、本町出身の佐藤綾乃さんが、スピードスケートのワールドカップにおいて、3個の金メダルを獲得されるとともに、『女子団体追い抜き』では世界記録を2度にわたって更新するという輝かしい成績を収められました。これを受け、町では昨年12月31日、厚岸町特別表彰規則に基づき『栄誉をたたえて』を贈ったところです。

佐藤選手は、こうした成績が認められ、平昌冬季オリンピックのスピードスケート日本代表として出場し、女子団体追い抜きで見事に金メダルを獲得したほか、個人種目でも3千円で自己記録を更新して8位入賞するなど、大いに活躍されました。オリンピックという世界の大舞台で緊張や不安の中、信念を持って目標に向かい活躍される佐藤選手の姿に感銘を受けたと同時に、希望と元気をいただきました。こうした功績を称え、厚岸町特別表彰規則に基づき最高の賞である『栄誉賞』を贈ることとします。

私は町民の皆さんの負託を受け、昨年7月から5期目の町政を担わさせていただきましたこととなり、既に8カ月過ぎます。さまざまな世代に対する環境教育の充実を図ります。

エゾシカなどの野生動物による農林業被害については、2014年度をピークに減少に転じているとはいえ、依然として高い水準にあることから、引き続き関係機関と連携し、個体数の適正管理のための計画的な駆除を実施します。

さらに、湖北省街地に出没するエゾシカの対応については、昨年度に実施した囲いワナによる捕獲事業で大きな成果があったことから、本年度も引き続き実施します。

特定外来生物の対応については、漁業や生態系への被害を防止するため、引き続きオオハンゴウソウ、ウチダザリガニの計画的な防除に向けた取り組みを実施します。

町民生活と産業活動の基盤である水道事業については、公営企業として効率性を発揮しながら、将来を見据えて一層の経営改善に取り組み、健全な経営に努めます。

水道施設については、漁港整備に伴う若竹第2埠頭の配水管新設のほか、老朽化した送配水管や施設の更新と耐震化を計画的に進めます。

また、太田・片無去地区における簡易水道の全体的な施設更新に向けた基本構想を策定します。

下水道事業については、漁港整備に伴う若竹一丁目地区の污水管整備

が経ちましたが、これまでの4期16年の延長ではなく、町長を志した時の初心と意気込みを持ちながら、町長として町民の皆さんの先頭に立ち、厚岸町を輝かしい未来へと導く決意を新たにしたいところです。

町政に臨む基本姿勢

私は就任以来、郷土厚岸町の発展のため、皆さんと約束したことの実現に向けて、全力で町政執行に当たってきました。これまでの町政執行に当たり、町民の皆さんならびに町議会議員の皆さんのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

今、厚岸町には、国による衛生管理型漁港の整備や厚岸漁業協同組合によるカキ人工種苗生産施設などの稼働と『弁天かき』の出荷、釧路太田農業協同組合の『あつけし極みるく65』を原料とするアイスクリームなどの製造・販売、北海道横断自動車道『尾幌・糸魚沢間』の事業化に向けた計画段階評価の着手、国内外が注目する厚岸蒸溜所のウイスキー製造と『厚岸ニューボーン』の初出荷・全国販売など、さらに元気なまちへと向かう追い風が吹いています。厚岸町の経済を加速させるには、この追

を完成させるほか、白浜3丁目地区の污水管整備を継続するとともに、老朽化した既存施設を計画的に更新します。

また、災害に備えた危機対策を強化するため、関係機関との災害復旧に関する協定の締結や、終末処理場など基幹施設を耐震補強するための実施設計を行います。

公共下水道による整備を予定していない地区においては、生活排水処理施設の整備を促進するため、合併処理浄化槽設置に対する支援を継続します。

高速道路の整備については、釧路外環状道路の釧路別保インターチェンジが本年度に開通予定であるほか、北海道横断自動車道の阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジ間の2020年代前半の開通を目指すとの見通しが示されています。

釧路・根室間については、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会が主体となった要望活動などが実を結び、昨年度には尾幌・糸魚沢間の事業化に向けた計画段階評価が着手されたところであり、今後も早期事業化に向けて関係市町村や団体との連携の下、積極的な要望活動を展開します。

町道の整備については、太田門静間道路と床潭末広間道路の整備、筑紫恋道路の歩道改修、太田地区の防

情勢の変化と町民の皆さんの声を踏まえた計画づくりを進めます。

こうした重点施策を推進しつつ、長期的視野に立ったまちづくりを推進するため、残すところ2年となった『第5期厚岸町総合計画・後期行動計画』の着実な実行と『厚岸町未来創生総合戦略』の取り組みを加速させ、未来に夢を抱く町民の皆さんとともに、暮らして豊かさ実感できるまちの実現に向けて全力を尽くします。

主要な施策の推進

2018年度において取り組む主要な施策の推進については、第5期厚岸町総合計画の5本のまちづくりの柱に沿って進めます。

自然との調和を大切にしながら、快適で安全なまちづくり

厚岸町の基幹産業である漁業と農業は、自然環境の保全なくしては決して成り立たないものです。豊かな自然環境の保全のため、『厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画』に示す行動指針に基づき、町、町民、事業者が協働で、河畔林造成や厚岸町クリーン作戦などの活動に取り組みます。

また、自然環境を守り育てる意識の育成と行動力の向上を目指し、さ